

「支えてくれる周りの方への感謝を忘れず」

上田 彩(うへだ あや)

防衛監察本部 統括監察官付第6監察班監察調査官
(H11年度入庁)



〈これまでの主な経歴〉

平成11年4月	入庁 陸自関東補給処火器車両部	平成22年4月	陸自関東補給処松戸支処
平成14年6月	防衛局調査課	平成25年4月	陸自中央業務支援隊人事統計部
平成16年4月	長官官房秘書課採用試験室	平成28年4月	現職
平成18年4月	防大教務部教務課		
平成20年3月	育児休業 (平成20年3月～平成21年6月)		
平成21年6月	防大教務部教務課（育児時間取得）		

現在の仕事について

防衛監察本部は、防衛省・自衛隊の全組織に対して独立した立場で厳格に調査・検査を実施していますが、私は監察班に所属し部隊等に向いて監察を実施しています。監察の際には、実際に部隊等の現状を把握するとともに隊員の方々と面談などを行いますので、監察という業務の性質から緊張感のある仕事であると感じています。

私生活と仕事を両立するための工夫

現職では、月1回、約1週間の出張がありますが、自宅近くの実家の両親や同じ防衛事務官の夫の協力を得て対応しています。私の留守中に娘の面倒を見てくれる両親と夫の負担を軽くするため、娘の登校時に必要な持ち物や連絡事項はわかりやすく紙に書いて皆で共有したり、収納場所を固定化して準備しやすくなるよう工夫しています。さらに、両親と娘を私の職場見学に誘うなどして、私の職務に対する理解を深めてもらっており、見学後、娘は張り切ってお手伝いもしてくれるようになりました。

育児や介護、その他で悩んだこととその対処方法

育児休業復帰後、まだ幼児であった娘の急病対応で「今日の午後」「明日」と計画していた仕事ができないという状況を幾度となく経験しました。このような体験から、切のある仕事は必ず前日に提出するよう努め、またどうしても仕事を休めない時には実家の両親にお願いし対応しました。育児休業中及び育児時間取得中は、職場の周りの皆さんに負担をかけていることが心苦しく、このまま仕事を続けていいのだろうかと悩む毎日でしたが、周りの方からのあたたかいアドバイス、サポートのおかげで今日に至っていますので、今後、私が後輩、同僚を支える立場になったらできる限りの恩返しをしようと思っています。

仕事に対するモチベーションアップ方法

娘は出産予定日より3ヶ月の早産で、約600グラムの超低体重出生児でしたので、誕生してから危険な状況を何度も経験し、私自身が仕事を続けることなど、もうできないのではと思っていましたが、そんな娘も現在小学校3年生。学校で連続皆勤賞をもらえるくらい元気に成長しています。私が今日を迎えられているのは、治療を担当して頂いた病院スタッフの方々、家族をはじめ職場の皆さんの助けがあったからに他なりません。これまでにお世話になった皆さんに「感謝する気持ち」と、日々元気に成長する「娘の笑顔」が私の仕事に対するモチベーションとなっています。

女性職員へのメッセージ

新聞の投稿欄に「今かなわないことがあってもいい。焦らない気持ちの強さを持ち続けて」と働くママ宛のメッセージが寄せられていたのが印象に残っています。子育て中は、仕事もプライベートも思い描いたとおりにはならず、気ばかりが焦る時期もあると思います。しかし、私の経験から、子供が成長し一人でできることが増えていくにつれ、だんだん自分の時間もできてきます。また経験を積むことで「あの頃を乗り越えたのだから大丈夫」という自信も出てくると思います。私自身もまだまだ試行錯誤の毎日で、皆さんに偉そうにアドバイスをできる立場ではありませんが、支えて下さる周りの方への感謝は決して忘れることなく、公私にわたって目の前の「仕事」を一生懸命に一つ一つこなしていくという気持ちが大切かな、と思います。